第 16 講　【地誌編】西アジア・中央アジア，アフリカ
PART 2 西アジア・中央アジアの農業，資源開発

Chapter 1　西アジア・中央アジアの農業

目標
サウジアラビアで，穀物の生産量が増えた背景を理解しよう。
中央アジアで，綿花の栽培地域拡大に伴って起こった環境問題を理解しよう。

1　西アジア・中央アジアの農業

・全体に**乾燥**が強く，降水に頼った農業には適さない土地が多い。
　→農耕発祥の地の一つでもあり，貴重な水を活かす〔　　　　　〕**技術**が発展している。
　→また，伝統的に**羊**や**ラクダ**など乾燥に強い家畜の〔　　　　　〕も行われる。

＜各地域の農業＞

地域	説明
乾燥地域	・羊，ヤギ，ラクダなどの〔　　　　〕。
ティグリス川・ユーフラテス川流域など／砂漠のオアシス地域	・〔　　　　　　　　〕のそばや**オアシス**では，伝統的な**灌漑農業**である〔　　　　　　　　　　　　〕が行われる。 →**地下水路**を利用し，水を遠方の耕地・農地や集落に導くことも。イランではこの地下水路を〔　　　　　　　　〕と呼ぶ。 ・水を豊富に得られる地域では〔　　　　〕，得にくい地域では〔　　　　　　　　　　〕などの**果実**や野菜を栽培。
地中海沿岸	・**地中海式農業**が発達し，柑橘類など果実の栽培。

オアシス農業

カナート

2　農業の近代化と環境問題

1. 西アジアの農業の近代化

・**石油輸出**によって得た豊富な資金（**オイルマネー**）をもとに，農業の**大規模化**や**技術開発**が進められ，農業地域が拡大している。

→**サウジアラビア**では，**海水の淡水化プラント**の建設や，地下水を利用する〔　　　　　　　　〕方式の灌漑を開始。**小麦**などの収穫量は増大したが，地下水の減少や地盤沈下などの**環境問題**も発生している。

淡水化プラント（サウジアラビア）

センターピボット方式の灌漑（サウジアラビア）

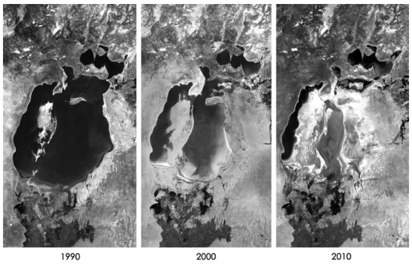
2. 中央アジアの農業の近代化

・**ソ連**時代に〔　　　　　　　　〕が行われ，**綿花**や**小麦**の増産が図られた。

→**ウズベキスタン**などでは，**アムダリア川**と**シルダリア川**からの灌漑により，〔　　　　〕の農地が拡大。

→両河川を主な水源とする〔　　　　　　〕は，流入する水量の減少により湖面が大きく縮小。生態系の変化，水産業の衰退，周辺地域の**塩害**などが生じた。

ソ連時代の集団農業（ウズベキスタン）



アラル海の縮小

まとめ

オイルマネーを利用して高度な技術・巨大施設が導入され，農業の近代化・大規模化が行われた。

外来河川からの灌漑による綿花栽培が行われた結果，河川水が減少し，アラル海が縮小した。

Chapter 2　西アジア・中央アジアの資源開発

目標　西アジアにおける経済格差について理解しよう。
近年の中央アジアの開発について理解しよう。

1　西アジアの資源開発の現在

・**ペルシャ湾岸地域**は世界最大の〔　　　　〕埋蔵地域。
→サウジアラビアや**アラブ首長国連邦**などの
〔　　　　　　〕加盟国は，莫大な
〔　　　　　　　　　　　　〕で**国内開発**を推進。
原油の産出と輸出に依存する経済からの脱却を図る。
・西アジアでは，産油国と非産油国との**経済格差**が大きく，経済レベルの低い国から高い国への**人口流動**が顕著に見られる。

リゾート開発（サウジアラビア）

＜産油国における産業（2019 年）＞

国名	GNI	1 人当たりGNI	説明
サウジアラビア	8,009億ドル	22,840ドル	・石油化学プラントが建設され，**プラスチック**の世界的な生産国に発展。
アラブ首長国連邦	4,232億ドル	43,470ドル	・石油火力による安価な電力を利用した**アルミニウム**の生産。 ・〔　　　　　　〕は**中継貿易港・金融センター**として発展。リゾート開発により**観光業**も盛ん。
イラン	2,584億ドル	3,640ドル	**原油**が経済の大きな位置を占める。

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）

<そのほかの西アジア諸国の産業（2019 年）>

国名	GNI	1 人当たりGNI	説明
イエメン	249億ドル	852ドル	原油埋蔵量が少ないうえ，**内戦**もあって経済が停滞。世界最貧国の一つ。
トルコ	7,486億ドル	9,690ドル	**ヨーロッパ**とのつながりが強く，自動車工業などの**労働集約型工業**の工場が進出。
イスラエル	3,928億ドル	43,070ドル	**アメリカ合衆国**との経済的なつながりが強く，貿易額が大きい。

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）

2　中央アジアでの開発

・中央アジア諸国は，ソ連時代には〔　　　　　　　　　　〕のもとで十分な開発投資が行われなかったが，近年は**資源開発**を中心に経済成長が目指されている。

・〔　　　　　　　　〕周辺地域で，**油田**や**天然ガス田**の開発が進む。

→カスピ海沿岸の**バクー油田**（アゼルバイジャン）から，トルコの地中海沿岸までを結ぶ〔　　　　　　　　　　〕の整備など。

・カザフスタンでは〔　　　　　　　　　　〕や**ウラン**，ウズベキスタンでは**金**の産出。

→採掘権をめぐって，EU や**ロシア**，〔　　　　〕などが争奪戦を展開している。

パイプラインの敷設

鉱山（ウズベキスタン）

まとめ

オイルマネーで潤うサウジアラビアやアラブ首長国連邦で経済レベルが高く，周辺国からの人口移動も見られる。

油田・天然ガス田・鉱山の開発などの資源開発が行われている。

第 16 講　PART 2　確認問題

1 西アジア・中央アジアの農業について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 農業に適さない土地では，羊やラクダなど乾燥に強い家畜の遊牧が行われている。
② 外来河川のそばやオアシスでは，灌漑農業であるオアシス農業が行われている。
③ 水を豊富に得られる地域では，灌漑により主になつめやしが栽培される。
④ 地中海沿岸では，地中海式農業が発達し，柑橘類などの果実が栽培される。

2 イランにおける地下水路の名称はどれか。

① カナート　② カレーズ
③ カンアルチン　④ フォガラ

3 潤沢なオイルマネーを使って農業の近代化を行い，小麦などの収穫量を増大させた西アジアの国はどこか。

① イスラエル　② イラン
③ サウジアラビア　④ トルコ

4 アムダリア川とシルダリア川からの灌漑により，ウズベキスタンなどで生産量が増大した農作物はどれか。

① 米　② サトウキビ
③ 茶　④ 綿花

5 西アジア諸国の現在について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① ペルシャ湾岸地域は世界最大の原油埋蔵地域であり，産油量も多い。
② サウジアラビアはOPEC加盟国であるが，アラブ首長国連邦は加盟していない。
③ OPEC加盟国は，原油に依存する経済体制からの脱却を図っている。
④ 西アジアでは産油国と非産油国との経済格差が顕著である。

6 以下のうち，最も1人当たりGNIが低い国はどこか。

① イエメン　② イラン
③ サウジアラビア　④ トルコ

7 アメリカ合衆国との経済的なつながりが強く，1人当たりGNIが西アジア有数の国はどこか。

① アラブ首長国連邦　② イスラエル
③ オマーン　④ カタール

8 レアメタルやウランの産出量が多い，中央アジアの国はどこか。

① ウズベキスタン　② カザフスタン
③ タジキスタン　④ トルクメニスタン

第 16 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：③

乾燥地域の中でも，水を豊富に得られる地域では**小麦**の栽培が可能。**なつめやし**は，乾燥が厳しい地域において，オアシス農業などによって得られる作物。

2 解答：①

イランにおける地下水路の名称は**カナート**。カレーズはアフガニスタン，カンアルチンは中国，フォガラは北アフリカにおける地下水路の名称である。

3 解答：③

サウジアラビアは，潤沢なオイルマネーを用いて農業の近代化を推進した。センターピボット方式を導入するなどして，**小麦**の生産が増大した。

4 解答：④

アムダリア川とシルダリア川からの取水により生産された作物は，**綿花**や小麦。作物の生産量は増大したが，アラル海の縮小などの環境問題を招く結果となった。

5 解答：②

西アジアでは**アラブ首長国連邦**，サウジアラビア，イラン，イラク，クウェートが OPEC に加盟している。

6 解答：①

イエメンでは内戦が続くことも一因となり，経済成長がおぼつかない。サウジアラビアなどへ多くの出稼ぎ労働者が流出している。世界最貧国の一つ。

7 解答：②

イスラエルの多くを占めるユダヤ人はアメリカ合衆国にも多くおり，両国の関係は深い。

8 解答：②

カザフスタンは，レアメタルやウランの産出量が多い。